平成23年３月期
第２四半期(中間期)決算説明資料

株式会社　紀陽ホールディングス

【　目　次　】

１．平成２３年３月期 第２四半期(中間期)決算ダイジェスト……Ｐ２～７

２．第２四半期(中間期)決算の概況

（１）損益状況……Ｐ８～９

（２）業務純益……Ｐ１０

（３）利鞘……Ｐ１０

（４）有価証券関係損益……Ｐ１０

（５）有価証券の評価損益……Ｐ１１

（６）自己資本比率（第二基準、国内基準）……Ｐ１２

（７）ＲＯＥ……Ｐ１３

３．貸出金等の状況

（１）リスク管理債権（紀陽ホールディングス連結）……Ｐ１４

（２）リスク管理債権（紀陽銀行単体）……Ｐ１５

（３）金融再生法開示債権（紀陽銀行単体）……Ｐ１６

（４）開示債権における各種基準の比較（紀陽銀行単体）……Ｐ１７

（５）業種別貸出状況等（紀陽銀行単体）……Ｐ１８

（６）消費者ローン残高……Ｐ１９

（７）中小企業等貸出比率……Ｐ１９

（８）国別貸出状況等（紀陽銀行単体）……Ｐ１９

（９）預金、貸出金等の残高……Ｐ１９

＜参考資料＞

（紀陽銀行分）　中間連結財務諸表・中間個別財務諸表……Ｐ２０～２３

・中間連結財務諸表（中間連結貸借対照表、中間連結損益計算書）

・個別財務諸表（中間貸借対照表、中間損益計算書）

※　当社および当社の子会社である紀陽銀行は、特定事業会社（企業内容等の開示に関する内閣府令第１７条の１５第２項に規定する事業を行う会社）に該当するため、第２四半期会計期間については、中間連結財務諸表および中間財務諸表を作成しております。

（注）　本資料のうち将来に関する事項につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報、及び将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る本資料発表日現在における仮定を前提としています。実際の業績は、今後様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。

１．平成２３年３月期　第２四半期(中間期)決算ダイジェスト

（１）損益の状況

①　紀陽ホールディングス連結

○当中間期の紀陽ホールディングス連結の経営成績は、子銀行（紀陽銀行）における国債等債券売却益の計上や与信費用の減少などにより、経常利益は前年同期比２３億円増加の６３億円となりました。
○さらに特別利益として貸倒引当金戻入益２７億円を計上したことなどから、中間純利益は、前年同期比３２億円増加し５４億円となりました。

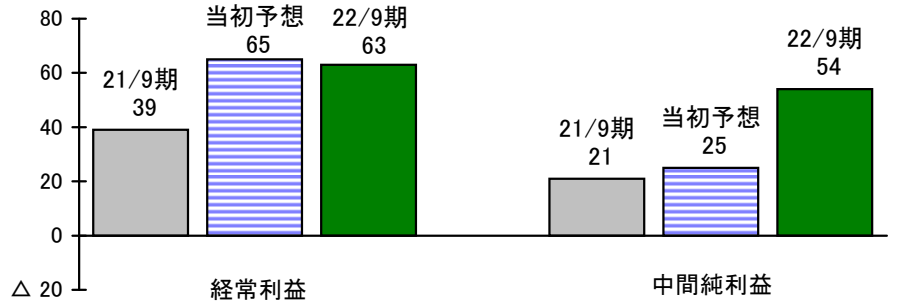
（百万円）

	22年中間期	21年中間期比	21年中間期
連結粗利益	33,461	2,206	31,255
資金利益	25,607	△　78	25,685
役務取引等利益	3,447	△　89	3,536
その他業務利益	4,406	2,373	2,033
営業経費（△）	21,802	1,275	20,527
一般貸倒引当金繰入額①（△）	－	△　1,138	1,138
不良債権処理額②（△）	2,653	△　1,145	3,798
（与信費用①＋②）	(2,653)	(△2,284)	(4,937)
うち貸出金償却（△）	2,494	436	2,058
うち個別貸倒引当金純繰入額（△）	－	△　1,286	1,286
株式関係損益	△　2,767	△　375	△　2,392
経常利益	6,341	2,349	3,992
特別損益	2,609	1,811	798
うち償却債権取立益	901	76	825
うち貸倒引当金戻入益	2,756	2,756	－
うち減損損失（△）	794	789	5
法人税等調整額（△）	3,114	1,022	2,092
中間純利益	5,419	3,273	2,146

（ご参考）与信コスト総額	△　1,007	△　5,118	4,111

（注）１．金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。
２．連結粗利益＝（資金運用収益－資金調達費用）＋（役務取引等収益－役務取引等費用）＋（その他業務収益－その他業務費用）
３．当中間期は、一般貸倒引当金繰入額 △1,195百万円と個別貸倒引当金繰入額 △1,560百万円の合計額 △2,756百万円を、貸倒引当金戻入益に計上しております。
４．与信コスト総額＝与信費用－償却債権取立益－貸倒引当金戻入益（貸出関連のみ）
５．（△）は損失項目です。

＜前年同期、当初業績予想（２２年５月、決算発表時）との比較＞　（億円）



②　紀陽銀行単体

○紀陽銀行単体ベースの業務粗利益は、前年同期比２１億円増加の３１４億円となりました。市場金利の低下に伴い、国債等債券売却益が増加したことにより、その他業務利益が前年同期比２３億円増加しました。
○資金利益については、市場金利が低下する中、貸出金利息が減少したものの、有価証券投資残高の増加による有価証券利息の増加などにより、前年同期比横這いの２５４億円となりました。
○役務取引等利益については、前年同期比１億円減少の２０億円となりました。
○与信コスト総額については、取引先への経営改善支援の取組み強化の効果などにより大幅に減少し、貸倒引当金戻入益を計上したことなどから、前年同期比５１億円減少の△１９億円となりました。
○株式関係損益については、株式市場が低迷する中、リスク削減などを目的に残高圧縮を進めたことから、２７億円の損失を計上いたしました。
○中間純利益については、前年同期比３５億円増加の６４億円となりました。

（百万円）

	22年中間期	21年中間期比	21年中間期
業務粗利益	31,452	2,191	29,261
資金利益	25,475	△　38	25,513
役務取引等利益	2,057	△　129	2,186
その他業務利益	3,919	2,358	1,561
経費（△）	20,073	1,526	18,547
一般貸倒引当金繰入額①（△）	－	△　919	919
業務純益	11,379	1,586	9,793
コア業務純益	7,715	△　1,541	9,256
不良債権処理額②（△）	2,120	△　842	2,962
（与信費用①＋②）	(2,120)	(△　1,761)	(3,881)
株式関係損益	△　2,767	△　375	△　2,392
その他臨時損益	244	△　76	320
経常利益	6,736	1,977	4,759
特別損益	2,997	2,391	606
うち償却債権取立益	655	22	633
うち貸倒引当金戻入益	3,390	3,390	－
うち減損損失（△）	794	789	5
法人税等調整額（△）	3,215	860	2,355
中間純利益	6,489	3,508	2,981
（ご参考）与信コスト総額	△　1,929	△　5,176	3,247

（注）１．金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。
２．コア業務純益とは、一般貸倒引当金繰入前、債券関係損益（債券５勘定尻）控除後の業務純益です。
３．当中間期は、一般貸倒引当金繰入額 △1,469百万円と個別貸倒引当金繰入額 △1,921百万円の合計額 △3,390百万円を、貸倒引当金戻入益に計上しております。
４．与信コスト総額＝与信費用－償却債権取立益－貸倒引当金戻入益（貸出関連のみ）
５．（△）は損失項目です。

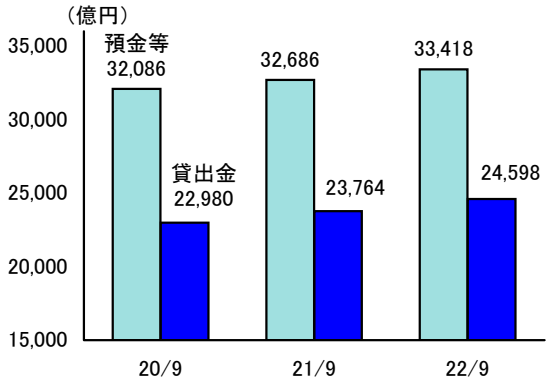
（２）主要勘定の状況（紀陽銀行単体）

○中小企業向け貸出や住宅ローン残高が順調に増加したことなどから、貸出金残高は前年同期末比８３４億円増加の２兆４，５９８億円となりました。
○預金・譲渡性預金合計は、個人預金を中心に増加し、前年同期末比７３２億円増加の３兆３，４１８億円となりました。

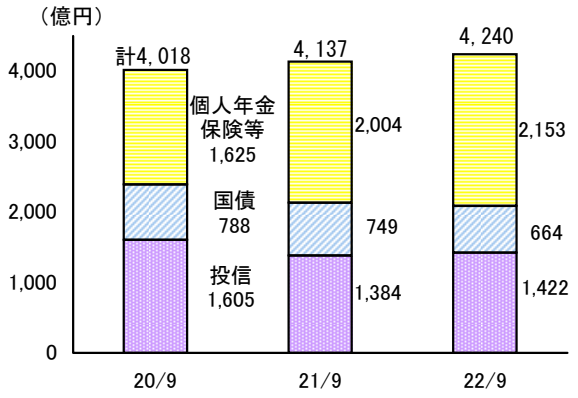
（百万円）

（期末残高）	22年9月末	21年9月末比	21年9月末	（ご参考）22年3月末
貸出金	2,459,860	83,441	2,376,419	2,451,503
うち消費者ローン	867,652	34,333	833,319	854,414
預金・譲渡性預金合計	3,341,887	73,268	3,268,619	3,414,804
うち個人預金	2,556,367	77,727	2,478,640	2,527,531
預かり資産（投資信託）	142,294	3,875	138,419	154,941
預かり資産（国債等）	66,454	△ 8,476	74,930	70,195
個人年金保険等販売累計額	215,301	14,901	200,400	210,556

＜預金等、貸出金残高＞



＜預かり資産残高＞



（注）個人年金保険等は、販売累計額を表示しております。

（３）有価証券の状況（紀陽銀行単体）

○株式相場が下落したものの、国内外の市場金利低下による債券価格の大幅上昇により、その他有価証券評価差額は、前期末比１７１億円改善し１７２億円となりました。

＜その他有価証券で時価のあるもの＞　（百万円）

	22年9月末				22年3月末（評価損益）
	貸借対照表計上額	評価損益	うち評価益	うち評価損	
株　　式	34,314	△ 2,448	2,602	5,050	1,961
国内債券	511,699	16,488	16,540	52	1,123
外国債券	223,038	53	4,746	4,692	△ 6,343
その他	16,928	△ 2,952	165	3,118	△ 3,129
うち投資信託	14,946	△ 2,933	159	3,093	△ 3,101
小　　計	785,981	11,141	24,055	12,913	△ 6,387
保有目的区分の変更による評価差額	―	6,144	6,144	―	6,485
合　　計	785,981	17,285	30,199	12,913	97

（４）不良債権の状況（金融再生法開示債権）　（紀陽銀行単体）

○事業再生や経営改善支援への取組み強化などにより、不良債権比率の更なる低下を推し進めております。
○このような活動の結果、金融再生法ベースの不良債権残高は、前期末比で４４億円減少し、８９９億円となりました。また、不良債権比率は、前期末比で０．１９％低下し、３．６０％となりました。
○なお、２２年９月末の引当率は４７．２％、保全率は８８．０％となりました。

①　不良債権（金融再生法開示債権）の状況

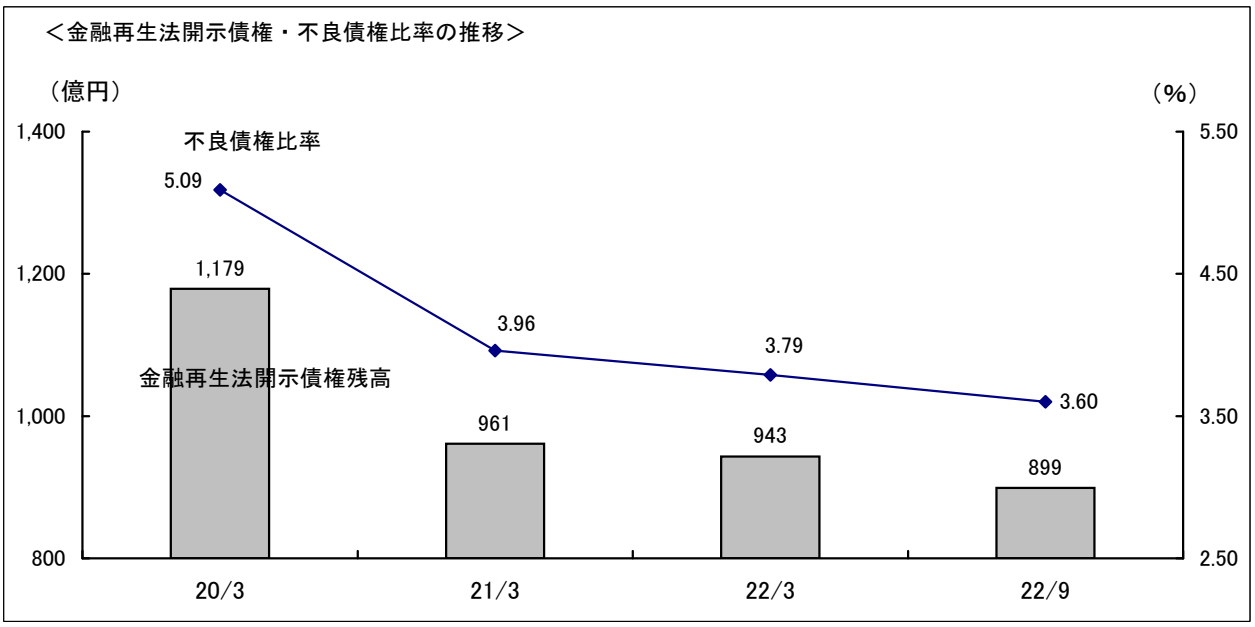
（百万円）

	22年9月末	22年3月末比	21年9月末比	22年3月末	21年9月末
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	25,697	△ 2,622	△ 3,412	28,319	29,109
危険債権	56,172	△ 1,093	4,412	57,265	51,760
要管理債権	8,040	△ 734	△ 733	8,774	8,773
小　計　（不良債権）	89,910	△ 4,449	267	94,359	89,643
正常債権	2,403,535	10,472	80,441	2,393,063	2,323,094
合　計	2,493,446	6,023	80,708	2,487,423	2,412,738
再生法開示債権比率（不良債権比率）	3.60%	△ 0.19%	△ 0.11%	3.79%	3.71%

②　保全状況

（百万円）

	22年9月末	22年3月末比	21年9月末比	22年3月末	21年9月末
不良債権額	89,910	△ 4,449	267	94,359	89,643
担保・保証等	69,553	375	3,190	69,178	66,363
不良債権額のうち、担保・保証等によりカバーされていない部分	20,357	△ 4,823	△ 2,922	25,180	23,279
貸倒引当金	9,609	△ 4,861	△ 5,370	14,470	14,979
引　当　率	47.2%	△ 10.2%	△ 17.1%	57.4%	64.3%
保　全　率	88.0%	△ 0.6%	△ 2.7%	88.6%	90.7%



（５）自己資本比率及び繰延税金資産の状況

○紀陽ホールディングス連結の自己資本比率は、１１．２７％（前期末比＋０．３７％）となりました。また、紀陽銀行単体の自己資本比率は、１０．７６％（前期末比＋０．３４％）となりました。
○紀陽ホールディングス連結の自己資本は、中間純利益を着実に計上したことにより、前期末比６１億円増加の２，０２５億円となりました。
○繰延税金資産のＴｉｅｒＩに対する割合は、紀陽ホールディングス連結で１６．８％（前期末比△５．７％）、紀陽銀行単体では１６．７％（前期末比△６．０％）と大幅な低下となりました。

①　紀陽ホールディングス連結

（百万円、％）

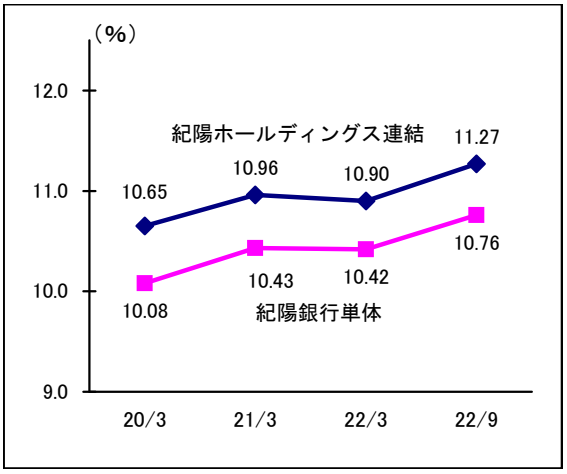
	22年9月末	22年3月末比	21年9月末比	22年3月末	21年9月末
自己資本比率	11.27%	0.37%	0.19%	10.90%	11.08%
ＴｉｅｒＩ比率	8.60%	0.38%	0.32%	8.22%	8.28%
自己資本	202,556	6,175	5,073	196,381	197,483
うちＴｉｅｒＩ	154,530	6,404	6,978	148,126	147,552
うちＴｉｅｒⅡ	48,025	△　230	△　1,906	48,255	49,931
リスクアセット	1,796,125	△　4,716	15,083	1,800,841	1,781,042
繰延税金資産	26,003	△　7,336	△　11,295	33,339	37,298
ＴｉｅｒＩ対比	16.8%	△ 5.7%	△ 8.4%	22.5%	25.2%

②　紀陽銀行単体

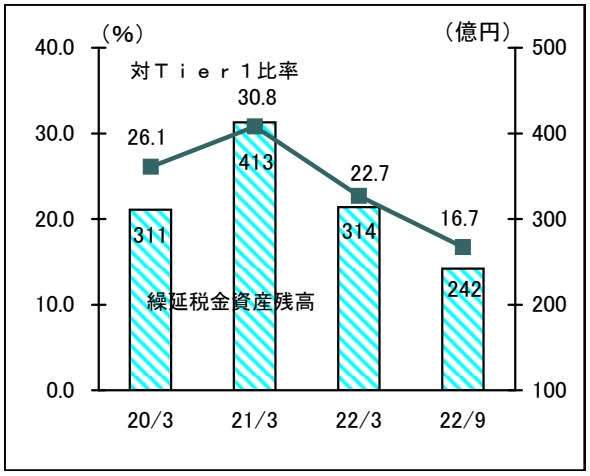
（百万円、％）

	22年9月末	22年3月末比	21年9月末比	22年3月末	21年9月末
自己資本比率	10.76%	0.34%	0.19%	10.42%	10.57%
ＴｉｅｒＩ比率	8.10%	0.38%	0.36%	7.72%	7.74%
自己資本	192,354	5,594	5,064	186,760	187,290
うちＴｉｅｒＩ	144,811	6,492	7,635	138,319	137,176
うちＴｉｅｒⅡ	47,542	△　898	△　2,571	48,440	50,113
リスクアセット	1,786,150	△　4,733	15,674	1,790,883	1,770,476
繰延税金資産	24,217	△　7,258	△　11,275	31,475	35,492
ＴｉｅｒＩ対比	16.7%	△ 6.0%	△ 9.1%	22.7%	25.8%

＜自己資本比率の推移＞



＜繰延税金資産の推移（紀陽銀行単体）＞



（６）平成２３年３月期　業績予想・配当予想

①　業績予想

○資金利益につきましては、市場金利が低水準で推移するものの、預金・貸出金残高の増加基調は維持できるものと考えており、堅調に推移するものと考えております。
○役務取引等利益につきましては、引き続き投資信託販売などに注力することから、中間期までとほぼ横這いで推移するものと見込んでおります。
○与信コストにつきましては、当中間期のような大幅な貸倒引当金戻入益の発生は見込めず、さらに、地元企業の事業再生にかかる費用などが引き続き発生するものと考えております。
○保有有価証券については、将来のリスクを削減するために、株式残高の圧縮などを引き続き行うことを予定しており、これに伴う一定の損失が発生することを見込んでおります。
○以上のような状況などを総合的に判断し、平成２３年３月期の業績予想につきましては、連結経常利益１０９億円、連結当期純利益６３億円を見込んでおります。

＜紀陽ホールディングス連結＞

（億円）

	平成23年3月期通期
経常収益	８６２
経常利益	１０９
当期純利益	６３

＜紀陽ホールディングス単体＞

（億円）

	平成23年3月期通期
営業収益	３６
営業利益	３２
経常利益	３２
当期純利益	３２

＜紀陽銀行単体＞

（億円）

	平成23年3月期通期
経常収益	７９２
コア業務純益	１８０
業務純益	２０６
経常利益	１２６
当期純利益	８０

②　紀陽ホールディングス配当予想

○平成２３年３月期の普通株式配当金につきましては、年間３円を期末一括でお支払いさせていただく予定です。

	平成23年3月期　通期	
	期　末	
普通株式	３円００銭	３円００銭
第４回第一種優先株式	１２円００銭	１２円００銭
第二種優先株式	１０円００銭	１０円００銭

（注）第４回第一種優先株式は、市場金利に連動し配当額が決定されます。

２．第２四半期(中間期)決算の概況

（１）損益状況

【紀陽ホールディングス連結】　（百万円）

	22年中間期	21年中間期比	21年中間期
連結粗利益	33,461	2,206	31,255
資金利益	25,607	△ 78	25,685
役務取引等利益	3,447	△ 89	3,536
その他業務利益	4,406	2,373	2,033
営業経費（△）	21,802	1,275	20,527
一般貸倒引当金繰入額①（△）	－	△ 1,138	1,138
不良債権処理額②（△）	2,653	△ 1,145	3,798
（与信費用①＋②）	(2,653)	(△2,284)	(4,937)
貸出金償却（△）	2,494	436	2,058
個別貸倒引当金純繰入額（△）	－	△ 1,286	1,286
その他の不良債権処理額（△）	159	△ 295	454
株式関係損益	△ 2,767	△ 375	△ 2,392
その他	103	△ 491	594
経常利益	6,341	2,349	3,992
特別損益	2,609	1,811	798
うち償却債権取立益	901	76	825
うち貸倒引当金戻入益	2,756	2,756	－
うち減損損失（△）	794	789	5
税金等調整前中間純利益	8,951	4,161	4,790
法人税、住民税及び事業税（△）	360	△ 114	474
法人税等調整額（△）	3,114	1,022	2,092
法人税等合計（△）	3,475	909	2,566
少数株主損益調整前中間純利益	5,475		
少数株主利益（△）	56	△ 21	77
中間純利益	5,419	3,273	2,146

（ご参考）与信コスト総額	△ 1,007	△ 5,118	4,111

（注）１．金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。
２．連結粗利益＝（資金運用収益－資金調達費用）＋（役務取引等収益－役務取引等費用）
＋（その他業務収益－その他業務費用）
３．与信コスト総額＝与信費用－償却債権取立益－貸倒引当金戻入益（貸出関連のみ）
４．（△）は損失項目です。

（連結対象会社数）

	22年中間期	21年中間期比	21年中間期
連結子会社数	7	－	7
持分法適用会社数	－	－	－

【紀陽銀行単体】　（百万円）

	22年中間期	21年中間期比	21年中間期
業務粗利益	31,452	2,191	29,261
（除く債券関係損益）	27,788	△ 16	27,804
資金利益	25,475	△ 38	25,513
役務取引等利益	2,057	△ 129	2,186
その他業務利益	3,919	2,358	1,561
国内業務粗利益	28,143	1,025	27,118
（除く債券関係損益）	26,029	△ 394	26,423
資金利益	23,953	△ 328	24,281
役務取引等利益	2,031	△ 133	2,164
その他業務利益	2,158	1,486	672
（うち債券関係損益）	2,113	1,418	695
国際業務粗利益	3,309	1,167	2,142
（除く債券関係損益）	1,759	378	1,381
資金利益	1,522	291	1,231
役務取引等利益	26	5	21
その他業務利益	1,760	872	888
（うち債券関係損益）	1,550	789	761
経費（除く臨時処理分）（△）	20,073	1,526	18,547
人件費（△）	9,543	493	9,050
物件費（△）	8,945	679	8,266
税金（△）	1,584	354	1,230
業務純益（一般貸倒引当金繰入前）	11,379	666	10,713
うちコア業務純益（注．2）	7,715	△ 1,541	9,256
一般貸倒引当金繰入額①（△）	―	△ 919	919
業務純益	11,379	1,586	9,793
うち債券関係損益	3,663	2,207	1,456
臨時損益	△ 4,642	392	△ 5,034
不良債権処理額②（△）	2,120	△ 842	2,962
貸出金償却（△）	1,967	421	1,546
個別貸倒引当金純繰入額（△）	―	△ 976	976
貸出債権譲渡損（△）	―	△ 376	376
その他の不良債権処理額（△）	152	90	62
（与信費用①＋②）	(2,120)	(△ 1,761)	(3,881)
株式関係損益	△ 2,767	△ 375	△ 2,392
株式等売却益	2	△ 692	694
株式等売却損（△）	1,260	△ 228	1,488
株式等償却（△）	1,508	△ 90	1,598
その他臨時損益	244	△ 76	320
経常利益	6,736	1,977	4,759
特別損益	2,997	2,391	606
償却債権取立益	655	22	633
貸倒引当金戻入益	3,390	3,390	―
固定資産処分損益	△ 4	17	△ 21
減損損失（△）	794	789	5
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額（△）	249	249	―
税引前中間純利益	9,734	4,368	5,366
法人税、住民税及び事業税（△）	30	1	29
法人税等調整額（△）	3,215	860	2,355
法人税等合計（△）	3,245	860	2,385
中間純利益	6,489	3,508	2,981

（ご参考）与信コスト総額	△ 1,929	△ 5,176	3,247

（注）１．金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。
２．コア業務純益とは、一般貸倒引当金繰入前、債券関係損益（債券５勘定尻）控除後の業務純益です。
３．与信コスト総額＝与信費用－償却債権取立益－貸倒引当金戻入益（貸出関連のみ）
４．（△）は損失項目です。

（２）業務純益

（百万円）

（紀陽銀行単体）	22年中間期	21年中間期比	21年中間期
① コア業務純益	7,715	△ 1,541	9,256
職員一人当たり（千円）	3,311	△ 834	4,145
② 業務純益（一般貸倒引当金繰入前）	11,379	666	10,713
職員一人当たり（千円）	4,883	86	4,797
③ 業務純益	11,379	1,586	9,793
職員一人当たり（千円）	4,883	497	4,386

（３）利鞘

＜全　体＞

（%）

（紀陽銀行単体）	22年中間期	21年中間期比	21年中間期
① 資金運用利回　（A）	1.69	△ 0.13	1.82
貸出金利回　（B）	1.89	△ 0.16	2.05
有価証券利回	1.43	0.04	1.39
② 資金調達原価　（C）	1.42	△ 0.01	1.43
預金等原価　（D）	1.41	△ 0.01	1.42
預金等利回	0.24	△ 0.04	0.28
経費率	1.17	0.04	1.13
外部負債利回	2.63	0.02	2.61
③ 総資金利鞘　（A）－（C）	0.27	△ 0.12	0.39
④ 預貸金利鞘　（B）－（D）	0.48	△ 0.15	0.63

＜国内業務部門＞

（%）

（紀陽銀行単体）	22年中間期	21年中間期比	21年中間期
① 資金運用利回　（A）	1.62	△ 0.13	1.75
貸出金利回　（B）	1.89	△ 0.16	2.05
有価証券利回	1.38	－	1.38
② 資金調達原価　（C）	1.41	－	1.41
預金等原価　（D）	1.39	△ 0.01	1.40
預金等利回	0.24	△ 0.04	0.28
経費率	1.15	0.04	1.11
③ 総資金利鞘　（A）－（C）	0.21	△ 0.13	0.34
④ 預貸金利鞘　（B）－（D）	0.50	△ 0.15	0.65

（４）有価証券関係損益

（百万円）

（紀陽銀行単体）	22年中間期	21年中間期比	21年中間期
債券関係損益（債券５勘定尻）	3,663	2,207	1,456
売 却 益	6,199	4,077	2,122
償 還 益	－	－	－
売 却 損（△）	1,965	1,300	665
償 還 損（△）	－	－	－
償　　却（△）	570	570	－

（百万円）

（紀陽銀行単体）	22年中間期	21年中間期比	21年中間期
株式関係損益（株式３勘定尻）	△ 2,767	△ 375	△ 2,392
売 却 益	2	△ 692	694
売 却 損（△）	1,260	△ 228	1,488
償　　却（△）	1,508	△ 90	1,598

（５）有価証券の評価損益

①有価証券の評価基準

売買目的有価証券	時価法（評価差額を損益処理）
満期保有目的有価証券	償却原価法
その他有価証券	時価法（評価差額を全部純資産直入）
子会社株式及び関連会社株式	原価法

②評価損益

（百万円）

（紋陽ホールディングス連結）		22年9月末			22年3月末		
		評価損益			評価損益		
			評価益	評価損		評価益	評価損
	満期保有目的	1,383	1,470	87	1,453	1,531	78
	その他有価証券	11,636	24,170	12,534	△ 5,854	9,574	15,429
	保有目的区分の変更による評価差額(注２)	6,193	6,193	―	6,537	6,537	―
合	計	19,214	31,835	12,621	2,136	17,644	15,507
	株　式	△ 2,379	2,673	5,053	2,056	4,447	2,390
	債　券	17,955	18,008	53	2,612	4,890	2,277
	その他	△ 2,555	4,959	7,515	△ 9,071	1,768	10,839
	保有目的区分の変更による評価差額(注２)	6,193	6,193	―	6,537	6,537	―

（注）１．「その他有価証券」については、時価評価しておりますので、上記の表上は、貸借対照表価額（時価）と取得原価との差額を計上しております。

２．変動利付国債の時価については、合理的に算定された価額を適用しております。なお、保有している変動利付国債は、全て過年度に「その他有価証券」から「満期保有目的の債券」へ保有目的を変更しております。

３．純資産の部に計上している「その他有価証券評価差額金」は、22年9月末 11,035百万円、22年3月末 △1,897百万円であります。

（百万円）

（紋陽銀行単体）		22年9月末			22年3月末		
		評価損益			評価損益		
			評価益	評価損		評価益	評価損
	満期保有目的	1,384	1,470	86	1,453	1,531	78
	その他有価証券	11,141	24,055	12,913	△ 6,387	9,473	15,861
	保有目的区分の変更による評価差額(注２)	6,144	6,144	―	6,485	6,485	―
合	計	18,670	31,670	13,000	1,551	17,491	15,939
	株　式	△ 2,448	2,602	5,050	1,961	4,351	2,389
	債　券	17,937	17,989	52	2,593	4,885	2,292
	その他	△ 2,962	4,934	7,896	△ 9,488	1,768	11,257
	保有目的区分の変更による評価差額(注２)	6,144	6,144	―	6,485	6,485	―

（注）１．「その他有価証券」については、時価評価しておりますので、上記の表上は、貸借対照表価額（時価）と取得原価との差額を計上しております。

２．変動利付国債の時価については、合理的に算定された価額を適用しております。なお、保有している変動利付国債は、全て過年度に「その他有価証券」から「満期保有目的の債券」へ保有目的を変更しております。

３．純資産の部に計上している「その他有価証券評価差額金」は、22年9月末 10,727百万円、22年3月末 △2,420百万円であります。

（６）自己資本比率（第二基準、国内基準）

【算出方法】

信用リスク	標準的手法
オペレーショナル・リスク	基礎的手法

（百万円）

（紀陽ホールディングス連結）	22年9月末			22年3月末	21年9月末
		22年3月末比	21年9月末比		
①　自己資本比率	11.27%	0.37%	0.19%	10.90%	11.08%
②　Tier Ⅰ比率	8.60%	0.38%	0.32%	8.22%	8.28%
③　基本的項目	154,530	6,404	6,978	148,126	147,552
④　補完的項目	48,025	△　230	△　1,906	48,255	49,931
（イ）うち一般貸倒引当金	11,225	△　30	94	11,255	11,131
（ロ）うち負債性資本調達手段等	36,800	△　200	△　2,000	37,000	38,800
⑤　控除項目	－	－	－	－	－
⑥　自己資本　③ ＋ ④ － ⑤	202,556	6,175	5,073	196,381	197,483
⑦　リスクアセット	1,796,125	△　4,716	15,083	1,800,841	1,781,042
（イ）信用リスク	1,674,836	△　3,787	16,331	1,678,623	1,658,505
（ロ）オペレーショナル・リスク	121,289	△　928	△　1,247	122,217	122,536

（百万円）

（紀陽銀行単体）	22年9月末			22年3月末	21年9月末
		22年3月末比	21年9月末比		
①　自己資本比率	10.76%	0.34%	0.19%	10.42%	10.57%
②　Tier Ⅰ比率	8.10%	0.38%	0.36%	7.72%	7.74%
③　基本的項目	144,811	6,492	7,635	138,319	137,176
④　補完的項目	47,542	△　898	△　2,571	48,440	50,113
（イ）うち一般貸倒引当金	10,497	△　696	△　568	11,193	11,065
（ロ）うち負債性資本調達手段等	36,800	△　200	△　2,000	37,000	38,800
⑤　控除項目	－	－	－	－	－
⑥　自己資本　③ ＋ ④ － ⑤	192,354	5,594	5,064	186,760	187,290
⑦　リスクアセット	1,786,150	△　4,733	15,674	1,790,883	1,770,476
（イ）信用リスク	1,671,321	△　3,664	17,114	1,674,985	1,654,207
（ロ）オペレーショナル・リスク	114,828	△　1,069	△　1,441	115,897	116,269

（ご参考）

（紀陽銀行連結）	22年9月末			22年3月末	21年9月末
		22年3月末比	21年9月末比		
自己資本比率	10.87%	0.37%	0.22%	10.50%	10.65%

（７）ＲＯＥ

（%）

（紀陽ホールディングス連結）	22年中間期			22年3月期	21年中間期
		22年3月期比	21年中間期比		
中間(当期)純利益ベース（注１）	8.23	3.34	4.05	4.89	4.18

（注１）

$$\frac{\text{中間（当期）純利益－優先株式配当金総額}}{\text{｛（期首純資産の部合計－少数株主持分－期首発行済優先株式数×発行価額）＋（中間期末（期末）純資産の部合計－少数株主持分－中間期末（期末）発行済優先株式数×発行価額）｝÷２}} \times １００$$

（%）

（紀陽銀行単体）	22年中間期			22年3月期	21年中間期
		22年3月期比	21年中間期比		
業務純益ベース（注２）	19.56	△　5.47	△　5.84	25.03	25.40
中間(当期)純利益ベース（注３）	10.55	2.25	2.82	8.30	7.73

（注２）

$$\frac{\text{業務純益－優先株式配当金総額}}{\text{｛（期首純資産の部合計－期首発行済優先株式数×発行価額）＋（中間期末（期末）純資産の部合計－中間期末（期末）発行済優先株式数×発行価額）｝÷２}} \times １００$$

（注３）

$$\frac{\text{中間（当期）純利益－優先株式配当金総額}}{\text{｛（期首純資産の部合計－期首発行済優先株式数×発行価額）＋（中間期末（期末）純資産の部合計－中間期末（期末）発行済優先株式数×発行価額）｝÷２}} \times １００$$

中間期については年間に換算し計算しております。

３．貸出金等の状況

（１）リスク管理債権　（紀陽ホールディングス連結）

＊部分直接償却実施後
＊未収利息計上基準：自己査定ベース

①リスク管理債権の状況

（百万円）

		22年9月末	22年3月末比	21年9月末比	22年3月末	21年9月末
リスク管理債権	破綻先債権額	4,629	△ 1,395	△ 1,825	6,024	6,454
	延滞債権額	76,586	△ 1,703	3,383	78,289	73,203
	３カ月以上延滞債権額	－	△ 424	△ 381	424	381
	貸出条件緩和債権額	12,870	1,452	2,498	11,418	10,372
	合　計	94,086	△ 2,071	3,674	96,157	90,412

（注）部分直接償却による減少額

22年9月末：破綻先債権額　51,901百万円、　延滞債権額　27,633百万円
22年3月末：破綻先債権額　58,014百万円、　延滞債権額　25,561百万円
21年9月末：破綻先債権額　58,105百万円、　延滞債権額　28,079百万円

（百万円）

貸出金残高（末残）		2,453,306	7,777	83,214	2,445,529	2,370,092

（%）

貸出金残高比	破綻先債権額	0.18	△ 0.06	△ 0.09	0.24	0.27
	延滞債権額	3.12	△ 0.08	0.04	3.20	3.08
	３カ月以上延滞債権額	－	△ 0.01	△ 0.01	0.01	0.01
	貸出条件緩和債権額	0.52	0.06	0.09	0.46	0.43
	合　計	3.83	△ 0.10	0.02	3.93	3.81

②　貸倒引当金等の状況

（百万円）

		22年9月末	22年3月末比	21年9月末比	22年3月末	21年9月末
貸倒引当金合計		27,243	△ 5,728	△ 5,761	32,971	33,004
	一般貸倒引当金	12,935	△ 1,145	△ 794	14,080	13,729
	個別貸倒引当金	14,307	△ 4,583	△ 4,967	18,890	19,274
	特定海外債権引当勘定	－	－	－	－	－

③　リスク管理債権に対する引当率

（%）

	22年9月末	22年3月末比	21年9月末比	22年3月末	21年9月末
部分直接償却前	68.09	△ 2.95	△ 5.72	71.04	73.81
部分直接償却後	28.95	△ 5.33	△ 7.55	34.28	36.50

（注）貸倒引当率＝貸倒引当金／リスク管理債権

（２）リスク管理債権　（紀陽銀行単体）

＊部分直接償却実施後
＊未収利息計上基準：自己査定ベース

①リスク管理債権の状況

（百万円）

		22年9月末	22年3月末比	21年9月末比	22年3月末	21年9月末
リスク管理債権	破綻先債権額	4,601	△ 1,353	△ 1,824	5,954	6,425
	延滞債権額	76,836	△ 1,655	3,512	78,491	73,324
	３カ月以上延滞債権額	－	△ 424	△ 381	424	381
	貸出条件緩和債権額	8,040	△ 310	△ 351	8,350	8,391
	合　計	89,478	△ 3,743	955	93,221	88,523

（注）部分直接償却による減少額

22年9月末：破綻先債権額　50,490百万円、　延滞債権額　25,969百万円
22年3月末：破綻先債権額　56,842百万円、　延滞債権額　23,984百万円
21年9月末：破綻先債権額　56,855百万円、　延滞債権額　26,453百万円

（百万円）

貸出金残高（末残）		2,459,860	8,357	83,441	2,451,503	2,376,419

（%）

貸出金残高比	破綻先債権額	0.18	△ 0.06	△ 0.09	0.24	0.27
	延滞債権額	3.12	△ 0.08	0.04	3.20	3.08
	３カ月以上延滞債権額	－	△ 0.01	△ 0.01	0.01	0.01
	貸出条件緩和債権額	0.32	△ 0.02	△ 0.03	0.34	0.35
	合　計	3.63	△ 0.17	△ 0.09	3.80	3.72

②　貸倒引当金等の状況

（百万円）

	22年9月末	22年3月末比	21年9月末比	22年3月末	21年9月末
貸倒引当金合計	23,153	△ 6,084	△ 6,196	29,237	29,349
一般貸倒引当金	10,497	△ 1,469	△ 1,226	11,966	11,723
個別貸倒引当金	12,656	△ 4,614	△ 4,970	17,270	17,626
特定海外債権引当勘定	－	－	－	－	－

③　リスク管理債権に対する引当率

（%）

	22年9月末	22年3月末比	21年9月末比	22年3月末	21年9月末
部分直接償却前	66.92	△ 2.71	△ 5.14	69.63	72.06
部分直接償却後	25.87	△ 5.49	△ 7.28	31.36	33.15

（注）貸倒引当率＝貸倒引当金／リスク管理債権

（３）金融再生法開示債権　（紀陽銀行単体）

＊部分直接償却実施後

①　金融再生法開示債権の状況

（百万円）

	22年9月末	22年3月末比	21年9月末比	22年3月末	21年9月末
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	25,697	△　2,622	△　3,412	28,319	29,109
危険債権	56,172	△　1,093	4,412	57,265	51,760
要管理債権	8,040	△　734	△　733	8,774	8,773
小　計 ①	89,910	△　4,449	267	94,359	89,643
（合計債権残高に占める比率）	(　3.60%)	(△　0.19%)	(△　0.11%)	(　3.79%)	(　3.71%)
正常債権	2,403,535	10,472	80,441	2,393,063	2,323,094
合　計	2,493,446	6,023	80,708	2,487,423	2,412,738

（注）部分直接償却による減少額

22年9月末：87,422百万円、22年3月末：91,485百万円、21年9月末：93,990百万円

②　金融再生法開示債権の保全状況

（百万円）

		22年9月末	22年3月末比	21年9月末比	22年3月末	21年9月末
保全額　②		79,163	△　4,485	△　2,180	83,648	81,343
	貸倒引当金	9,609	△　4,861	△　5,370	14,470	14,979
	担保・保証等	69,553	375	3,190	69,178	66,363
保全率　②／①		88.0%	△ 0.6%	△ 2.7%	88.6%	90.7%

＜平成２２年９月末＞　（百万円）

	破産更生債権及びこれらに準ずる債権	危険債権	要管理債権	合　計
債権額(A)	25,697	56,172	8,040	89,910
担保・保証等(B)	24,263	41,917	3,373	69,553
(B)によりカバーされていない部分 (C)=(A)-(B)	1,434	14,255	4,667	20,357
対象債権に対する貸倒引当金(D)	1,434	7,122	1,053	9,609
引当率(D)/(C)	100.0%	49.9%	22.5%	47.2%
保全率(B+D)/(A)	100.0%	87.3%	55.0%	88.0%

＜平成２２年３月末＞　（百万円）

	破産更生債権及びこれらに準ずる債権	危険債権	要管理債権	合　計
債権額(A)	28,319	57,265	8,774	94,359
担保・保証等(B)	24,998	40,806	3,373	69,178
(B)によりカバーされていない部分 (C)=(A)-(B)	3,320	16,458	5,400	25,180
対象債権に対する貸倒引当金(D)	3,320	9,684	1,465	14,470
引当率(D)/(C)	100.0%	58.8%	27.1%	57.4%
保全率(B+D)/(A)	100.0%	88.1%	55.1%	88.6%

＜平成２１年９月末＞　（百万円）

	破産更生債権及びこれらに準ずる債権	危険債権	要管理債権	合　計
債権額(A)	29,109	51,760	8,773	89,643
担保・保証等(B)	26,947	35,705	3,710	66,363
(B)によりカバーされていない部分 (C)=(A)-(B)	2,161	16,054	5,063	23,279
対象債権に対する貸倒引当金(D)	2,161	11,141	1,675	14,979
引当率(D)/(C)	100.0%	69.3%	33.0%	64.3%
保全率(B+D)/(A)	100.0%	90.5%	61.3%	90.7%

（４）開示債権における各種基準の比較　（紀陽銀行単体）

＜２２年９月末＞　　（単位：億円）

自己査定結果

債務者区分 与信残高	分類 非分類	Ⅱ分類	Ⅲ分類	Ⅳ分類
破綻先 47	14	33	― (4)	―
実質破綻先 209	160	49	― (9)	―
破綻懸念先 560	352	136	71 (71)	
要注意先 要管理先 161	27	133		
要注意先 要管理先以外の要注意先 3,474	1,434	2,039		
正常先 20,348	20,348			
合計 24,802	22,337	2,393	71	―

金融再生法開示債権

区分 与信残高	担保・保証等による保全額	引当額	保全率
破産更生債権及びこれらに準ずる債権 256	242	14	100.0%
危険債権 561	419	71	87.3%
要管理債権 80	33	10	55.0%
小計（Ａ） 899	695	96	88.0%
正常債権 24,035			
総与信（Ｂ） 24,934			

リスク管理債権

区分	貸出金
破綻先債権	46
延滞債権	768
３カ月以上延滞債権	―
貸出条件緩和債権	80
リスク管理債権合計（Ｃ）	894
貸出金残高（Ｄ）	24,598

総与信に占める金融再生法開示債権の割合 (A)÷(B)　3.60%

貸出金に占めるリスク管理債権の割合 (C)÷(D)　3.63%

（注１）記載金額は、億円未満を切り捨てて表示しております。
（注２）対象債権
・金融再生法開示債権：貸出金、支払承諾見返、外国為替、銀行保証付私募債、貸付有価証券、未収利息および貸出金に準ずる仮払金を対象としております。なお、銀行保証付私募債については、「金融商品に関する会計基準」の適用に伴い、貸借対照表計上額（時価）にて表示しております。
・リスク管理債権　　：貸出金を対象としております。
（注３）要管理債権と要管理先債権の違いについて
要管理債権は貸出債権単位の集計であり、要管理先債権は要管理債権を有する債務者への総与信の集計であります。
（注４）破綻先、実質破綻先および破綻懸念先の自己査定額における分類額
非分類額：引当金、優良担保（預金等）・優良保証（信用保証協会等）等でカバーされている債権
Ⅱ分類額：不動産担保等一般担保・保証等でカバーされている債権
Ⅲ分類額：全額または必要額について引当を実施、引当済分は非分類に計上
（破綻先および実質破綻先については全額引当済）
Ⅳ分類額：全額償却を実施
（注５）自己査定結果における（　）内は、分類額に対する引当額であります。

（５）業種別貸出状況等　（紀陽銀行単体）

①業種別貸出金

	22年9月末	22年3月末比	21年9月末比	22年3月末	21年9月末
国内店分（除く特別国際金融取引勘定）	2,459,860	8,357	83,441	2,451,503	2,376,419
製造業	371,007	△ 4,202	△ 2,055	375,209	373,062
農業、林業	3,882	△ 695	△ 668	4,577	4,550
漁業	1,956	△ 179	182	2,135	1,774
鉱業、採石業、砂利採取業	5,830	1,437	1,342	4,393	4,488
建設業	113,796	△ 54	367	113,850	113,429
電気・ガス・熱供給・水道業	5,518	604	65	4,914	5,453
情報通信業	9,601	1,341	1,715	8,260	7,886
運輸業、郵便業	67,058	△ 7	△ 147	67,065	67,205
卸売業、小売業	287,392	2,881	4,922	284,511	282,470
金融業、保険業	82,736	2,877	18,744	79,859	63,992
不動産業、物品賃貸業	310,423	15,527	23,430	294,896	286,993
各種サービス業	180,781	8,057	11,894	172,724	168,887
地方公共団体	232,391	△ 25,685	3,141	258,076	229,250
その他	787,489	6,458	20,509	781,031	766,980

②業種別リスク管理債権

	22年9月末	22年3月末比	21年9月末比	22年3月末	21年9月末
国内店分（除く特別国際金融取引勘定）	89,478	△ 3,743	955	93,221	88,523
製造業	12,826	△ 670	1,227	13,496	11,599
農業、林業	420	84	74	336	346
漁業	63	△ 3	△ 7	66	70
鉱業、採石業、砂利採取業	730	703	701	27	29
建設業	9,780	△ 3,537	△ 2,914	13,317	12,694
電気・ガス・熱供給・水道業	－	－	－	－	－
情報通信業	661	△ 247	458	908	203
運輸業、郵便業	3,738	△ 220	59	3,958	3,679
卸売業、小売業	12,214	584	857	11,630	11,357
金融業、保険業	84	△ 23	△ 892	107	976
不動産業、物品賃貸業	26,599	△ 271	△ 104	26,870	26,703
各種サービス業	11,556	△ 222	395	11,778	11,161
地方公共団体	－	－	－	－	－
その他	10,802	80	1,102	10,722	9,700

（６）消費者ローン残高

（百万円）

（紀陽銀行単体）	22年9月末	22年3月末比	21年9月末比	22年3月末	21年9月末
消費者ローン残高	867,652	13,238	34,333	854,414	833,319
うち住宅ローン残高	741,782	8,987	26,047	732,795	715,735
うちその他ローン残高	125,870	4,251	8,286	121,619	117,584

（７）中小企業等貸出比率

（百万円）

（紀陽銀行単体）	22年9月末	22年3月末比	21年9月末比	22年3月末	21年9月末
中小企業等貸出金残高	1,910,734	41,540	74,984	1,869,194	1,835,750
中小企業等貸出比率	77.6	1.4	0.4	76.2	77.2

（８）国別貸出状況等（紀陽銀行単体）

①特定海外債権残高
該当ありません。

②アジア向け貸出金
該当ありません。

③中南米主要諸国向け貸出金
該当ありません。

④ロシア向け貸出金
該当ありません。

（９）預金、貸出金等の残高

（百万円）

（紀陽銀行単体）	22年9月末	22年3月末比	21年9月末比	22年3月末	21年9月末
預金等（期末残高）	3,341,887	△ 72,917	73,268	3,414,804	3,268,619
預金	3,301,322	23,850	90,368	3,277,472	3,210,954
譲渡性預金	40,564	△ 96,768	△ 17,100	137,332	57,664
預金等（期中平残）	3,404,563	136,647	154,523	3,267,916	3,250,040
預金	3,312,365	115,409	129,104	3,196,956	3,183,261
譲渡性預金	92,198	21,238	25,420	70,960	66,778
預かり資産残高（期末残高）	208,749	△ 16,388	△ 4,601	225,137	213,350
投資信託	142,294	△ 12,647	3,875	154,941	138,419
国債等	66,454	△ 3,741	△ 8,476	70,195	74,930
個人年金保険等販売累計額	215,301	4,745	14,901	210,556	200,400
貸出金（期末残高）	2,459,860	8,357	83,441	2,451,503	2,376,419
（期中平残）	2,418,974	41,724	54,971	2,377,250	2,364,003

（ご参考）紀陽銀行　中間連結財務諸表

（１）中間連結貸借対照表

（単位：百万円）

科目	当中間連結会計期間末 （平成22年9月30日）	前連結会計年度末の 要約連結貸借対照表 （平成22年3月31日）
（資産の部）		
現金預け金	46,188	61,889
コールローン及び買入手形	11,251	85,808
債券貸借取引支払保証金	―	20,877
買入金銭債権	3,858	4,273
商品有価証券	4,979	5,328
有価証券	982,140	945,794
貸出金	2,453,306	2,445,529
外国為替	1,753	1,580
その他資産	29,171	27,719
有形固定資産	34,477	34,507
無形固定資産	9,299	10,158
繰延税金資産	26,146	33,280
支払承諾見返	16,773	18,315
貸倒引当金	△ 27,242	△ 32,969
資産の部合計	3,592,104	3,662,093
（負債の部）		
預金	3,299,086	3,273,455
譲渡性預金	35,564	132,332
債券貸借取引受入担保金	1,390	27,145
借用金	29,594	33,548
外国為替	76	21
社債	8,000	8,000
その他負債	42,448	26,057
退職給付引当金	26	25
役員退職慰労引当金	32	40
睡眠預金払戻損失引当金	498	590
偶発損失引当金	370	404
再評価に係る繰延税金負債	220	222
支払承諾	16,773	18,315
負債の部合計	3,434,082	3,520,159
（純資産の部）		
資本金	80,096	80,096
資本剰余金	32,357	32,357
利益剰余金	33,261	30,344
株主資本合計	145,715	142,798
その他有価証券評価差額金	10,732	△ 2,407
繰延ヘッジ損益	△ 0	△ 1
土地再評価差額金	324	328
評価・換算差額等合計	11,056	△ 2,080
少数株主持分	1,250	1,216
純資産の部合計	158,022	141,934
負債及び純資産の部合計	3,592,104	3,662,093

（ご参考）紀陽銀行　中間連結財務諸表

（２）中間連結損益計算書

（単位：百万円）

科目	前中間連結会計期間 （自　平成21年4月 1日 至　平成21年9月30日）	当中間連結会計期間 （自　平成22年4月 1日 至　平成22年9月30日）
経常収益	41,721	43,998
資金運用収益	30,846	30,279
（うち貸出金利息）	（24,444）	（22,960）
（うち有価証券利息配当金）	（6,246）	（7,189）
役務取引等収益	5,508	5,405
その他業務収益	3,630	7,751
その他経常収益	1,736	562
経常費用	36,885	36,769
資金調達費用	5,196	4,699
（うち預金利息）	（4,516）	（3,961）
役務取引等費用	1,947	1,932
その他業務費用	1,852	3,600
営業経費	19,454	20,687
その他経常費用	8,435	5,849
経常利益	4,836	7,228
特別利益	825	3,656
貸倒引当金戻入益	－	2,755
償却債権取立益	825	901
特別損失	27	1,048
固定資産処分損	21	4
減損損失	5	794
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	－	249
税金等調整前中間純利益	5,634	9,836
法人税、住民税及び事業税	386	338
法人税等調整額	2,135	3,102
法人税等合計	2,522	3,440
少数株主損益調整前中間純利益	－	6,396
少数株主利益	66	45
中間純利益	3,045	6,350

（ご参考）紀陽銀行　中間個別財務諸表

（１）中間貸借対照表

（単位：百万円）

科目	当中間会計期間末 （平成22年9月30日）	前事業年度の要約貸借対照表 （平成22年3月31日）
（資産の部）		
現金預け金	46,170	61,879
コールローン	11,251	85,808
債券貸借取引支払保証金	―	20,877
買入金銭債権	3,858	4,273
商品有価証券	4,979	5,328
有価証券	981,673	947,595
貸出金	2,459,860	2,451,503
外国為替	1,753	1,580
その他資産	18,123	16,452
有形固定資産	34,441	34,426
無形固定資産	9,212	10,058
繰延税金資産	24,217	31,475
支払承諾見返	16,768	18,309
貸倒引当金	△ 23,153	△ 29,237
資産の部合計	3,589,157	3,660,331
（負債の部）		
預金	3,301,322	3,277,472
譲渡性預金	40,564	137,332
債券貸借取引受入担保金	1,390	27,145
借用金	29,594	33,548
外国為替	76	21
社債	8,000	8,000
その他負債	34,454	17,582
未払法人税等	216	260
リース債務	264	54
資産除去債務	388	―
その他の負債	33,585	17,267
役員退職慰労引当金	32	40
睡眠預金払戻損失引当金	498	590
偶発損失引当金	370	404
再評価に係る繰延税金負債	220	222
支払承諾	16,768	18,309
負債の部合計	3,433,293	3,520,669
（純資産の部）		
資本金	80,096	80,096
資本剰余金	32,357	32,357
資本準備金	259	259
その他資本剰余金	32,097	32,097
利益剰余金	32,357	29,302
利益準備金	1,698	1,010
その他利益剰余金	30,659	28,291
繰越利益剰余金	30,659	28,291
株主資本合計	144,811	141,756
その他有価証券評価差額金	10,727	△ 2,420
繰延ヘッジ損益	△ 0	△ 1
土地再評価差額金	324	328
評価・換算差額等合計	11,051	△ 2,094
純資産の部合計	155,863	139,661
負債及び純資産の部合計	3,589,157	3,660,331

（ご参考）紀陽銀行　中間個別財務諸表

（２）中間損益計算書

（単位：百万円）

科目	前中間会計期間 （自　平成21年4月 1日 至　平成21年9月30日）	当中間会計期間 （自　平成22年4月 1日 至　平成22年9月30日）
経常収益	39,116	41,549
資金運用収益	30,716	30,180
（うち貸出金利息）	（24,318）	（22,864）
（うち有価証券利息配当金）	（6,242）	（7,186）
役務取引等収益	4,431	4,323
その他業務収益	2,247	6,474
その他経常収益	1,722	570
経常費用	34,357	34,813
資金調達費用	5,202	4,704
（うち預金利息）	（4,519）	（3,964）
役務取引等費用	2,244	2,265
その他業務費用	685	2,555
営業経費	18,782	19,971
その他経常費用	7,441	5,315
経常利益	4,759	6,736
特別利益	633	4,046
特別損失	27	1,048
税引前中間純利益	5,366	9,734
法人税、住民税及び事業税	29	30
法人税等調整額	2,355	3,215
法人税等合計	2,385	3,245
中間純利益	2,981	6,489